

2011年3月期第1四半期連結決算報告(2010年4月1日~6月30日)

- 市場状況は安定化しており、一部地域・分野に見られる改善を反映した業績
- 持分法適用会社の業績が改善
- 構造改革施策によるコスト削減効果が引き続き実現
- 市場環境の改善を反映し、業績予想を修正

市場状況は安定化しており、一部地域・分野に見られる改善を反映した業績

- グループ売上は1,480億円(前年同期1,436億円)、暖簾償却前営業利益69億円(前年同期64億円 営業損)
- 売上は3%増収(為替変動を除くと9%増収)
- 建築用ガラス事業の業績は、市場環境の改善とコスト削減を反映
- 自動車用ガラス事業の売上と利益は、旺盛な新車向けガラス需要と補修用ガラスの堅調な業績により昨年を上回る
- 機能性ガラス事業の収益性は向上
- 当第1四半期で純利益黒字化

持分法適用会社の業績が改善

- ほとんどの合弁会社が、前年同期の利益を上回る
- セブラセ(ブラジルの建築用ガラスの50%合弁会社)は、好調な市場状況と高収益性に支えられ順調
- 中国の50%合弁会社である、建築用コーティングガラス生産ラインは、昨年の操業開始以来黒字継続

構造改革施策によるコスト削減効果が引き続き実現

- 昨年実施した構造改革施策によるコスト削減効果が引き続き実現
- 若干の投入コスト減も、営業利益に貢献
- 需要増に伴い稼働率改善

市場環境の改善を反映し、業績予想を修正

- 2011年3月期上半期の営業利益、経常利益及び当期純利益の予想値を、それぞれ40億円から90億円、10億円から60億円、及び純損失30億から純利益10億円に修正
- 上半期の営業利益の予想値は、主に当社製品に対する需要の強さを反映し修正
- 2011年3月期通期の営業利益、経常利益及び当期純利益の予想値を、それぞれ100億円から150億円、40億円から100億円、純損失40億円から純利益10億円に修正
- 通期業績予想は、上半期の業績上方修正と合わせて持分法適用会社の予想利益上昇を反映し修正
- 2011年3月期下期の営業利益予想は据え置き
- 円高による為替換算影響のため、2011年3月期上半期と通期の売上高予想はともに据え置き

<2011年3月期第1四半期 連結決算説明資料より抜粋>



連結損益計算書

(億円)	11年3月期 4月-6月期	10年3月期 4月-6月期	前年比
売上高	1,480	1,436	3%**
暖簾等償却前営業利益*	69	(64)	
暖簾等償却費*	(42)	(46)	
営業利益	27	(110)	
営業外損益	(17)	(48)	
経常利益	10	(158)	
特別損益	3	(11)	
税前利益	13	(169)	
当期純利益	2	(157)	
EBITDA	151	42	260%

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

**為替変動を除くと+9%

税引き後黒字化